



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

主 題

国際協会会長 「心新たに立ち上がる」
 藤井寛敏 "Once More We Stand"
 アジア地域会長 「心新たに立ち上がる」
 高田一彦 "Once More We Stand"
 西日本区理事 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 仁科保雄 "Forward with Y's men's spirit
 in our hearts"
 六甲部部长 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
 安行英文 "Show Y's care,
 Sow the seed of Y's"
 芦屋クラブ会長 「各々のタレントを發揮しよう」
 桑野友子 "Your-God-Given-Talent,
 Let it Shine !! "

会 長 桑野友子
 直前会長 飯田義雄
 副 会 長 堤 清 都筑省三
 書 記 堀江哲次 羽太英樹
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部地域奉仕・環境事業主査 飯田義雄

4

April. 2011
 第 167号

YMCA サービス

加輪上敏彦



YMCAの職員の方々と、直接接する機会が多く、なかなか感心する点もあり、若者特に働いている人々と直接接する機会が少ない、小生にとって大変楽しい役目となっています。

マスコミの伝える、昨今の若者像や、電車の中や、盛り場で見聞きする若者を見て、近頃の若者はと、つい批判的に見がちですが、私どもが若いとき働いたように、一生懸命に働かれています姿に、感心することが多くあります。

むしろ、私どもと違い、人の話を聞く姿勢は、私どもの若い時代よりは優れているのかもしれない。

ただ、神戸YMCA創立125年の長さのゆえに、現在の状況に適応していないところも、かなり目に付きます。

歴史のあるところは、なかなか変化させるのが難しく、前例どおりしていることも、少なからずあり、私達は建設的批判をして、少しでも、よくなるよう積極的にかかわってゆきたいと思えます。

チャリティラン、YYフォーラム、留学生支援など、今後とも益々支援し、発展させてゆきましょう。

今月の聖句

イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」
 ヨハネ福音書 20:29

4月第1例会プログラム

と き： 2011年4月20日(水) 19:00～21:00
 と ころ： 芦屋市民センター 203号室
 司 会： 柏原佳子 (敬称略)
 受 付： 上野恭男、加輪上敏彦

1. 開会点鐘 桑野友子会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖句朗読 羽太英樹
4. ゲスト・ビジター紹介 柏原佳子
5. 食前感謝 都筑省三
6. 会食・歓談 一同
7. タイ・ワークキャプリーダーの報告 西尾 篤 (三田 YMCA)
8. ゲスト・ビジターから一言
9. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
10. 議事・報告
- 1) 第2例会議事録承認 桑野友子会長
- 2) 各事業委員報告
11. 誕生祝い 桑野友子会長
 島田 恒・中野雅弘・福原吉孝
 吉岡浩一・田舎利子
12. ニコニコ献金報告 福原吉孝(ファンド)
13. 閉会点鐘 桑野友子会長

3月例会出席表

(敬称略)

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	13名	出席者	13名	650 gm (2,472 gm)
ビジター	6名	メイキャップ	3名	飯田、吉岡
ゲスト	1名	合 計	16名	
メネット	名	在籍者	18名	
合 計	20名	出席率	88.9%	ニコニコ (累計) 800 円 (99,631 円)

3月第1例会報告

日時:3月16日(水) 19:00~21:00

場所:賀川記念館4階(神戸市中央区吾妻通)

司会:井上雅司 (以下敬称略)

出席者:飯田、田舎、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、
島田、都筑、堤、羽太、福原、橋本連絡主事
(13名)

ゲスト:賀川督明(ゲストスピーカー)、藤田良祐(次期連絡
主事)

ピジター:水口美里(大阪土佐堀クラブ)、菅原進(神戸クラブ)、
小野勲紘(西宮クラブ)、大野勉(神戸ポートクラブ会長)、
森紘一(神戸学園都市クラブ会長)

例会冒頭に司会が3月11日に発生した「東日本大震災」で
被災された皆様に対するお見舞いを申し上げ、この大震災の犠



牲になられた
方々のご冥福
をお祈りして出
席者全員で黙
祷が捧げられた。
そして本日のニ
コニコ献金は義
援金として3月
23日に行われ

る芦屋クラブの街頭募金に加えることとした。

例会は桑野会長より被災された方々への哀悼の意が表され
開会。3月度第1例会はホテル竹園が使用できず、本日のゲ
ストスピーカーの賀川督明氏が館長を務める「賀川記念館」
(神戸市)で同氏のご好意により開催。

「賀川記念館」は、神戸で生まれ大正・昭和期のキリスト教
社会運動家、社会改良家として、日本における協同組合運
動、労働組合運動、農民運動などの偉大な先駆者である賀
川豊彦氏が神戸で貧しい人々の住む地域に身を投じてから1
00年になるのを機に2010年に建て替えられ、コミュニテー
センターとして地域福祉への貢献をめざし研究、調査施設の
ほか、幼稚園、ミュージアム等が入っている。

本日のゲストスピーカーの賀川督明氏は賀川豊彦氏のお孫さん



で「賀川豊彦が
残したもの」をテーマ
に講演をして頂いた。

講演内容は賀川豊
彦氏の半世紀にわた
る活動と、それを受
け継ぎ今日に至る
50年間の事業内
容について、そし

てこれからの活動について講演された。これまでは救貧から防
貧へ一人一人に対する取り組みに加えて、地域の社会システ
ムへの取り組みが協同組合運動となり子供、婦人、失業者、
貧困者に対する自立と人づくりを中心思想に7項目の多角的
事業内容に取り組んできた。今後は「学び」「実践」「発信」を
テーマに新しいプログラムを策定し「これからの社会を考えよう」

と、賀川豊彦100年記念事業神戸プロジェクト(9項目)を
展開することになった。…講演後、お弁当による会食、歓談、
橋本連絡主事のお別れの挨拶と後任の藤田良祐氏の新任
挨拶、ピジターのアピール・挨拶等会次第にのっとり粛々と進
行、福原ファンド委員よりニコニコ14,331円が3月23日の
街頭募金に加算される旨の報告があり、又、「賀川記念会
館」の被災者支援募金へ出席者は支援協力を行った。

井上雅司

第2回六甲部評議会が開催されました

3月20日(日)14時からということで早めに会場の神戸
YMCAに行きました。

受付に安行六甲部部長が僧侶姿で立っていたのでたまげまし
た。葬儀がこれからあるのでと評議会は欠席されるよし、納得
しました。

芦屋クラブは、桑野会長、飯田地域奉仕・環境事業主査、
柏原ウイメン、上野が参加しました。

評議会は会長報告、事業主査報告が時間通りに終了し、
司会の松本六甲部書記の経験豊富な進行がものを言った感
じでした。

芦屋クラブの報告は桑
野会長から、芦屋さく
ら祭りが中止となり出
店中止と、東日本大
震災の街頭募金を4
月23日(水)にすること
が報告されました。

飯田地域奉仕・環境
事業主査からは、東
日本大震災の街頭募金を21日(月)に神戸大丸前にて開
催するので参加をお願いしたい旨、アピールされました。



そして、次期六
甲部役員が前
に呼ばれ、飯
田次々期部長、
桑野 EMC 主
査を含めて森
次期部長から
紹介されまし
た。

続くサイコー亭
での懇親会で

は、まず、松本書記肝いりの「神戸とキリスト教」というテーマで
2001年に神戸そごう店で開催の聖書展のVTRを観ましたが、
神戸がキリスト教に影響を色々な形で受けたことを再認識しま
した。

東日本大震災の後でもあり、アルコールは出ませんでした。安
行部長不在の評議会はとても印象深い会となりました。

3次会をYMCAの近くで開きましたが15人ほどの参加があり、
大いにワイズメンズクラブの交わりを深めることができました。

上野恭男

IBC・オーストラリア・エチューカ Y サービスクラブ訪問記（4月5日～9日）

エチューカ クラブ訪問記（1）

予定を4時間も遅れて降り立ったメルボルン空港には、アラン・ブラウン会長・グレアム・スコット書記・デイビッド・マーシュ会計の3名が明るく迎えてくれました。吉岡メンが乗り換え地ゴールドコースト空港から連絡したとはいえ、心配していたので本当にうれしかったです。



2台の車に分乗してエチューカへ2時間の途中のモーテルで、ベンディゴ所在の“カンガルー フラッグクラブ”とエチューカ Y サービスクラブとの合同例会に同席し、エチューカクラブのメンバーのみならず、他クラブのメンバーとの親睦からスタートです。グレアム・スコットさんが予約して下さったモーテルは、ホテル並みでイメージを一新しました。「何時に起きますか？」「では、9時に迎えにきます」握手と優しいハグをかわしその日は big・meat の夢にうなされることもなく good-night！

雲ひとつない青空、“Murray River”の100年の歴史を刻む蒸気船は、私たちを乗せドラの音を響かせ出港です。お髯と紺色の制服と船長帽が似合う童話に出てくるような船長さんと、好奇心旺盛な上野メンの絶妙な会話が始まります。



しばしタイムスリップしたような時間が流れワイナリーの船着き場に到着。「See you later？」8人は棧橋を渡り予約されたレストランへ。ドロシー・トンプソン メネットも加わりゆったりランチタイムを楽しみました。

紡績工場からの製品を運んだ運河はのどかな観光名所となりました。帰りの船を待つ間も自然に包まれ、丸太に座るスコット

さんのカウボーイハットが絵になっていました。私たちへのホスピタリティは素晴らしく、心地よい時を過ごしました。

その夜のバーベキュー例会にはすっきりとブレザーを着て出席いたしましたが、そこは、ブライアン・ウィルズさんのご自宅でした。ブライアン・ウィルズさんは、2003年にBFデリゲートとしてリネメネットと東日本を訪問されています。当時のアルバムの中に私もよく存じている日本のワイズメンがあられ、女性同士親しくな

りました。男性たちにはすでにワインが振舞われ、大きな身体を揺すりながらカンガルーのお肉やソーセージをバーベキューオープンで自ら焼き上げ、メ

ネット手作りの甘くてbigなケーキなど、アットホームなボトラック party の始まりです。

ここでも吉岡メンはすべての通訳に大忙し、ワインに酔う間もなかったかな？でした。桑野会長から“鯉のぼり”や絵葉書などの



プレゼント贈呈、お返しはブローチ、ミニバナー贈呈があり拍手のうちに会が進み、9時過ぎには全員で記念撮影をしてお別れです。

翌日は桑野会長、吉岡メンは観光へ、上野メンと私は待望の海外でのゴルフにワクワクです。モーテルから10分足らずのコースに到着。クラブハウスには、30年前のクラブチャンピオンとして、ダンディーなグラハム・ピートさんの name が高々と掲げられていました。

我々は2人乗りカートで、ピートさんは、バギーを押して廻りましたが、7時30分にスタートし11時30分には18ホールを回り終え、びっくりでした。カートに乗った老夫妻とのふれあい、ピートさんの「Lovely shot！」の掛け声の心地よさは忘れられないプレゼントになりました。

何もわからないままのお任せでしたが、エチューカの皆様は、綿密な計画をしてくださっていたのですね。全員が揃ってラストランチタイムを楽しむことができました。その後、エチューカYMCA訪問、アラン・ブラウン会長、グレアム・スコット書記、ケイストーンブソン・ワイズのご自宅訪問もしました。メルボルンへと向かう車中、我々は後席に2人ずつ載せていただき日本語で気楽に話せホッとしながらも感動と感謝でいっぱいでした。なんと私は、もう一度ワイズが好きになっていました。

柏原佳子

エチューカ クラブ訪問記(2)

メルボルン空港でスコットさんとの再会、そして、エチューカの皆さんにはアクセスを2台の車でサポートいただき、なおかつ4時間も延着の到着まで辛抱強く待っていただき感謝します。

現地の気候は、夜は肌寒く昼間はさっぱりとしたまさに最適なシーズンでした。また、宿泊したモーテルは、ホテル並みの設備を整えた満足できるものでした。また、オーストラリア\$は、アメリカ\$と同じくらいで、判りやすかったです。

エチューカの中を流れるマレーリバーは、川巾100メートルくらいで大きな魚も住んでいるそうですが、フィッシングも出来てエチューカの観光の源となっていました。

2日目は観光でしたが、スチームエンジン付きの行き帰りともに



同じ船で楽しく過ごしました。ミシシッピーの外輪船を連想するクラシックな船の船長さんはピカピカに磨き上げたロンドン製蒸気機関の前で写真のポーズをとってくれました。

船長さんによると、100年ほど前の蒸気機関を備えた外輪船は6隻ほど動いているとのこと、石炭ではなく木材を燃やす環境に優しい船で、紡績工場のために働いたあと、2度目のご奉公です。ところで、2日目の夕方からはパーベキューパーティを我々のために開催してくれ、楽しく過ごしました。カンガルーの肉、山羊のソーセージ、ポトラックのデザートなどどれもおいしかったです。桑野会長から持参の鯉のぼりと絵葉書を贈呈し、エチューカからは女性にはブローチ、男性にはミニバナーをプレゼントされました。屋根を葺き網戸で囲った内庭は機能的で、リビングの延長の感じで遊び心を持った人たちだなー、と思った次第です。



3日目はビートさんにお付き合いいただき柏原さん、上野はゴ

ルフで、午前中にあっという間に1ラウンド。自由に乗り入れできるカートに乗ったので、疲れ知らずです。感想はビートさんの「ラプリーショット」と随所でかけていただく声が嬉しかったことでしょうか。ゴルフ場のクラブハウスはカントリークラブも兼ねていて、スロットマシンなども備えた町のエンターテイメントでした。お昼は観光組と合流してお昼をいただき、メルボルンのホテルまで送っていただきました。この間、エチューカのメンバーはとてフrendリーで、別れがづらいショートトリップでした。

時差がないので、9日に帰国してからも疲れ知らずは続きます。写真をたくさん撮りましたのでゆっくりと旅を振り返ってみたいラプ



リーな旅でした。

上野恭男

エチューカ クラブ訪問記(3)

一時間しか時差のない我がIBCパートナーのあるエチューカに着くには結構時間が掛かると知っておく必要があります。今回桑野会長、柏原ウイメン、上野メンと小生の4名は関空からゴールドコーストに10時間で飛び、そこからメルボルン迄2時間余り、乗り継ぎの待ち時間を入れて14時間余、そこからお迎えの車でエチューカへ約2時間。早くて合計16時間余りの筈でした。

しかし、最初から大波乱！関空出発が約4時間遅れたのです。当然ゴールドコーストからメルボルンへの乗り継ぎ便出発の時



間に間に合いません。問題はメルボルンに6日午前11:30到着予定と連絡してありますのでお迎えの方に連絡を付けねばならぬ事です。海外でも使える携帯をお持ちの方にお馴染みのグレアム・スコットさんに携帯しても繋がらず困り果てました。

考えてみるとこの迷惑の原因を作ったのは航空会社のジェットスターだとばかり同社のサービスデスクに捻じ込み、デスクの電話で3年前デンマークで初めてお会いしてこの IBC の基を作った下さったノエル・スコットさんの携帯に連絡が取れ、空港で私達を迎えに出ている方に知らせて下さるよう依頼して胸を撫で下ろしました。後で知った事ですが、彼はデンマークで別れて間もない頃の大きな自動車事故の後遺症で最近ワイズを退会されたとのことでしたが、嬉しいことに、後出する当日夜他クラブとの合同例会の席に私達に会う為に顔を見せてくれたことでした。結局メルボルンには約4時間の遅れで到着しますと、そこには何と、エチューカYサービスクラブのアラン・ブラウン会長、グレアム・スコット書記にデイビッド・マーシュ会計の所謂ビッグスリーが顔を揃えて待っていて下さったのです！！

それから8日午後4時迄の正味2日間、本当に誠心誠意、ホスピタリティとはこういうものかと今一度考え直させられる程の歓迎ぶりです。私達4人は真実感動致しました。到着初日の夜は通常彼等の本拠地のクラブ室での水曜例会の筈でしたが、当日は以前からの予定でベンディゴ所在のカンガルー・フラッグ・クラブとエチューカYサービスクラブの合同例会がエチューカへの途中エルモアという町のホテルで行われるというので、誘われるまま私達も同席参加させていただきました。

翌7日はトランパリーダム見学や名物のマレー川の蒸気船クルーズをエチューカクラブの皆さんと一緒に楽しみ、夜はBBQパーティを2008年当時の会長でIBC申請書を国際大会直後に早々と提出されたブライアン・ウィルスさんの私邸で行われたのです。昼間話題にしたカンガルーのステーキ肉をマーシュさんが買って来て頂いたのを含め十分な量の肉などをホスト自ら焼いて下さったのです。たっぷりのワインに奥様方手作りのケーキなどのデザートまで心のこもったおもてなしを受け夜の更けるまで楽しい時を共に過ごしました。

愈々最終日は我が柏原ウイメンと上野メンがエチューカの名門コースで腕試しの日です。早朝7時20分のお迎えの車で勇躍



出発。18ホールを通して思い切り楽しめたとお二人は大満足のご様子でした。

桑野会長と私はゆっくり10時のお迎えでまずYMCAの見学です。感銘を受けたのはYMCAが日本と全く異なり社会に溶け込み欠くべからざるコミュニテイの一部として機能し市民から愛され利用されている事です。

またワイナリーでのテイステイングでもお気に入りが見つかり2本



購入することになりました。この後ゴルフ場で合流し、エチューカクラブの皆さんと共に昼食し、彼らの毎水曜日の例会場も見せて頂いた後、2台に先方は会長、書記、会計ともう一人の4人が二人ずつ乗ってアテンドし、メルボルン空港近くのモテルまで送り届けて下さる念の入れようで本当に頭の下がる思いでした。

今後の両クラブの盛んな交流を心から願い、次回こちらからの訪問の際にはまた違った顔ぶれで楽しい交流を更に発展されることを切に望みます。

吉岡浩一

東日本大震災救援・復興募金活動

3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするM.9という巨大地震が発生。想像を絶する津波を伴う大災害となった。いまだに人的被害の全容もはっきりしない。



そんな中、国内はもとより世界中からの支援活動が始まった。芦屋ワイズでもすぐに募金活動の実施を決め、神戸YMCAとの共催の形で芦屋警察の許可を取得し3月23日第2例会の前にJR芦屋駅前にて実施した。底冷えのする寒い日であったが2時間にわたり、13名のワイズメンが市民に協力を呼びかけた。短時間ではあったが人々の関心も高く総額 ¥150,824 (第1例会でのニコニコ献金 ¥14,331を含む)を神戸YMCAを通じて支援することが出来た。尚、参加した方々は飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、羽太、福原、渡辺の各メン、ならびに他クラブからの応援山崎泰男メン(宝塚)、中村剛メン(神戸学園都市)。ご苦労様でした。

羽太英樹

3月第2例会・議事録 (抄)

日 時: 3月23日(水) 19:00~21:00

場 所: 芦屋市民センター 205号室

出席者: 飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田
都筑、羽太、福原、堀江、渡辺、橋本 (13名)

報告・協議・確認事項

1) 今後の例会予定

4月第1例会 4月20日(水) 芦屋市民会館203号室

スピーカー: タイ・ワークキャンプ参加リーダー

5月第1例会 5月18日(水) ブルーミン・メド

スピーカー: 畑儀文先生

6月第1例会 6月15日(水) 1年の振り返り

2) 2011年 2月度会計報告(羽太会計) を承認。

3) 例会での部長・主査の会費

上野メン作成の会則附則を検討する。

メンバー・ビジター・ゲストの無断若しくは直前の不参加があった場合には、会員には会費支払を求め、ゲストの場合は案内したメンバーが責任をもつこととする。欠席者が支払わない場合は第2例会に報告して対応を検討することを決める。

4) 大澤メンの広義会員

会長が大澤メンと話し、西日本区理事の承認を受ける。

5) 東日本大震災

支援街頭募金

3月23日 16時~18時 JR 芦屋駅前にて募金活動

大野メン(神戸ポートクラブ)のサポート

6) 今後の行事

六甲部役員引継ぎ式 5月21日(土)

西日本区大会 6月11日(土)~12日(日)

7) 周年行事

神戸YMCA125周年 5月7日(土) 8日(日)

神戸西クラブ50周年 5月14日(土)

参加者: 飯田、上野、柏原、桑野

大阪土佐堀クラブ60周年 5月21日(土)

参加者: 桑野、島田

8) エチュークラブ訪問 4月5日~9日

参加者: 上野、柏原、桑野、吉岡

9) 芦屋さくら祭りは東日本大震災をうけ、中止

10) 報告事項

2月28日 水野総主事の懇談会。(都筑、桑野)

YMCA ホームページのサーバーが更新される。

3月12~13日 会長・主査研修会に出席。(桑野)

3月20日 六甲部第2回評議会に出席。

(飯田、上野、柏原、桑野)

アジア大会(台湾)8月5~7日

東日本区大会の開催実施は不明

神戸YMCA が公益財団法人承認

羽太英樹

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

東日本大震災について

日本YMCA同盟では現在、情報収集と共に、被災YMCAの要望を伺いながら、支援体制を整えてきました。同盟において支援対策会議が開催され、同盟としての組織作りと支援方針が決定されました。

4月から同盟派遣の支援コーディネーターが仙台に入り、リーダーシップを取っていくこととなります。神戸YMCAとしては、まず翌日から支援募金活動を開始し、各ランチ・センターにおいて順次、募金活動が進められています。4月早々にはスタッフを仙台及び盛岡YMCAに派遣し、義援金を届けると共に、視察と支援についてのニーズ調査を行い、今後の活動を検討していきたいと思っています。

財団法人神戸YMCA、「公益財団法人」に認定!

かねてより公益財団法人に移行認定の申請をしておりましたが、兵庫県の認定等委員会において認定を受け、兵庫県知事より正式に認定公布書を受けました。これにより、4月1日(金)に新法人として登記を行ない、「財団法人」から「公益財団法人」としての新しいスタートを切ることとなります。

タイ・ワークキャンプ、無事帰国

去る3月11日(金)より24日(木)まで、第28回を数えるタイ・ワークキャンプが開催され、各リーダー会からのリーダーを中心に10名が参加し、無事帰国しました。

今年は村の小学校に車椅子の児童が使用できる教室の建設が目的でした。詳しいキャンプの様子は参加リーダーからの報告をお聞きください。

年度末の理事会・評議員会、常議員会開催

神戸YMCAの3つの法人で、それぞれに年度末の理事会・評議員会が開催されました。

3月22日(火)には学校法人で、23日(水)には社会福祉法人で開催され、それぞれに新年度方針・計画・予算案が決議されました。財団法人では3月22日(月)に開催され、同様の議案が審議されます。また青年会の常議員会が3月14日(月)に開催され、全体方針や125周年記念事業などについて審議がなされました。

ユースプラザKOBEL・EASTプログラムのご案内

1) 絵本と読み聞かせを学ぶ会「テーマで学ぶ絵本の世界~かんきょう~」

日 時: 5月14日(土)14:00~15:30

講 師: 正田眞次(学座「とうごまの葉の下」代表)

2) ユーブラ・フリーマーケット(入場無料)

日 時: 5月21日(土)11:00~16:00

3) ユーブラ・ミニコンサート

日 時: 5月28日(土)15:00~15:30(予定)

編集後記: DBC もりおかクラブ・プリテンでもわかるように、3月に未曾有の大災害を受けました。原発事故も起こり、いまだ、その収束が見えない状態です。人間の築いてきた文明・システムが、如何に脆いものか、痛感しています。

堀江哲次